

2025 春号
vol. 138
広報誌

躍進

やくしん

題字：前理事長 嶋田 國重

特集

- 病院長就任ご挨拶
- 整形外科センター開設



開設

シマダナーシングホームごおり



Facebook



X



Instagram

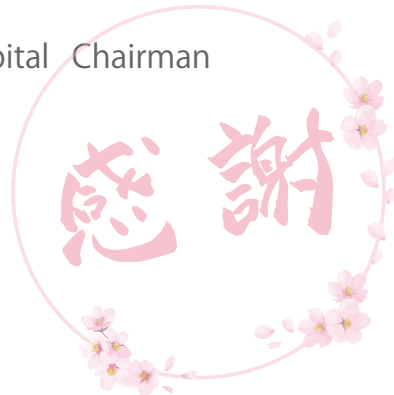
フォローをお願いします。



社会医療法人シマダ



Hospital Chairman



会 長

数田 昇一郎

今年の桜は、各地の入学式、入職式を待っていてくれたように4月のはじめに満開となりました。嶋田病院においても4月1日、29名の新入職員を迎えて入職式を行いました。特筆すべき嬉しいことは、長年にわたり待ち望んでいた整形外科チームが福岡大学整形外科教室から派遣していただけるようになり、これからの高齢化社会で増加すると思われる整形疾患の患者さんに対して今まで以上の診療体制が整えられると期待しています。一方、少子化、就労人口が減る中、嶋田病院においても僅かながらですが職員数は減ってきています。そしてそれに変わるIT化、医療DXが積極的に取り入れられています。内視鏡センターにおいては、健診部門を中心にAI機能を備え診断能力の向上を図る内視鏡システムを導入しました。医師や看護師の患者要約をAIによって短時間に作成するシステムも現在、最終的な調整段階にあり飛躍的にスタッフの業務量改善が図れるようになると思われます。また、入院病床においてはベッドに取り付けられたセンサーによって患者さんの様々な情報を連続的にモニターできるシステム導入を検討しています。さらには、嶋田病院を中心に地域の医療施設、介護施設などともネットワークを介して患者さん情報を共有できるシステムの構築を進めています。まだまだIT化、医療DXの推進は開発段階ですがこれらのものは想像以上の可能性を秘めており、今後の医療、介護の世界においてさらなる質の向上、安心をもたらしてくれると確信しています。

さて昨年度まで院長をしていた西村一宣先生は、新年度より診療統括部長として今後も引き続き嶋田病院の運営に携わっていただきます。西村先生が院長になられてすぐに新型コロナウイルス感染症が発生し、世界中が大混乱となりました。嶋田病院も発生当初はウイルスのはっきりした正体もわからず不安な中、西村先生は先頭に立って帰国者接触者外来、発熱外来を立ち上げ、ワクチン接種体制の確立、更にはコロナ患者の入院受け入れも行い、地域医療を守り地域住民の方々の安心を守り通していただきました。この未曾有のコロナ禍の中でこの地域において大きな問題も起こらず、地域の医療従事者の方々と共に医療提供体制が維持できたのはひとえに西村先生の指導力のおかげだと感謝しています。嶋田病院は今年度より新しい管理者のもと新体制となりますが、これからも地域の方々の安心を守り抜く医療、介護を展開してくれるものと信じています。

令和7年4月



Director of a Hospital

就任
ごあいさつ

院 長

島田 幸典
こう すけ

2025年4月1日より、嶋田病院の院長に就任いたしました島田幸典と申します。

私は、嶋田病院創業者である祖父 嶋田國重と、父 島田昇二郎会長の影響を受け、外科医として久留米大学病院で研鑽を積んでまいりました。久留米大学病院では、腹部手術の研鑽を積み、患者様の治療に携わってまいりました。2017年からは嶋田病院に勤務し、外科医としてよりも、救急の現場で診療する時間が長くなっておりました。嶋田病院では大学病院では経験したことがない事例も多く、救急医療の場を通して地域医療の重要性を改めて認識いたしました。

嶋田病院は1962年に祖父 嶋田國重が創立したのが始まりです。開設当時、患者さんの多くは農業に従事されており、忙しい仕事の合間を縫って遠慮がちに受診される姿を見た祖父は、「病気に盆も正月もない」と、地域の救急医療の充実に強い想いを抱いておりました。その後、父 島田昇二郎や西村一宣前院長がその想いを継承し、病院の機能を発展させ、健診センターや在宅医療にも広がっていくこととなりました。消化器疾患、脳卒中、整形外科疾患、糖尿病を中心に多岐にわたる疾患に対し、地域の中核として近隣の診療所の先生方とも連携し、これからも注力してまいります。

これから2040年に向けて、高齢者に多い心不全や肺炎、脳卒中、骨折などで救急搬送される方が増加すると予想されます。また、高齢夫婦や一人暮らしの方も多く、認知症や加齢に伴う身体機能の低下によって、生活自体が困難になる方がさらに増えることが予想されています。このような方々を地域でどのように支え合うかを、私たち地域医療を担う者は真剣に考えていかなければなりません。行政を含め、地域の医療機関とも話し合いの場を設け、協議を進めていくことが求められています。

解決すべき問題は多く、どれも容易ではありませんが、これらの問題に真摯に向き合い、最善の医療を提供し、地域と共生する病院としてこれからも歩んでまいります。祖父が掲げた「病気に盆も正月もない」という精神を受け継ぎ、24時間365日、地域の皆様に安心を提供できる救急医療体制をさらに強化してまいります。また、父と前院長が築き上げてきた健診センターや在宅医療の充実にも力を入れ、地域の皆様の健康寿命延伸に貢献したいと考えております。

これからも地域の皆様に健康と安心を感じていただけるよう、職員一同、全力を尽くしてまいります。何かお困りのことがございましたら、遠慮なくご相談ください。皆様と共に、より良い地域医療を築いていきたいと願っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 4 月

新しくなった整形外科診療

当院の整形外科は以前より様々な整形疾患を診療してきましたが、より多くの患者さんが安心して受診できるよう、2025年4月より常勤医師 2名を迎え新しい診療体制になりました。

対象疾患 整形外科疾患全般（※交通事故の外傷含む）

整形外科 医師紹介

2025年4月より

のむら ともひろ
整形外科部長 **野村 智洋** 医師

専門分野 膝関節・人工関節・外傷

つらい痛みやお悩み、我慢しないでご相談ください。骨折などのケガはもちろん、膝の痛みやスポーツによるケガ、変形性膝関節症など、幅広く診療いたします。患者さん一人ひとりに寄り添い、最適な治療をご提案できるよう努めています。どんなことでもお気軽にご相談ください。

所属学会 日本整形外科学会、日本膝関節学会
日本スポーツ整形外科学会
日本人工関節学会、日本関節病学会
資格 日本専門機構認定整形外科専門医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本整形外科認定リハビリテーション医
日本整形外科認定リウマチ医
身体障害者福祉法第15条指定医師
趣味 海釣り

はるしま しんのすけ
春島 慎之介 医師

専門分野 整形一般・外傷

地域の皆様が、より安心して医療を受けられるよう、可能な限り治療・手術の選択肢を増やしていきたいと考えております。また、患者さん一人ひとりに寄り添い、心のかもった医療を提供できるよう、スタッフ一同、日々精進してまいります。皆様のご期待に応えられるよう、誠心誠意努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

所属学会 日本整形外科学会
日本整形外傷学会
西日本整形・災害外科学会
趣味 ゴルフ

うえた ひろや
整形外科顧問 **植田 博也** 医師

専門分野 整形一般・外傷

所属学会 日本整形外科学会
西日本整形災害外科学会
日本整形外傷学会
資格 日本整形外科学会専門医

回復期リハビリテーション病棟
きむら かずお
木村 一雄 医師
専門分野 リハビリテーション

さいわい ひろかず
幸 博和 医師
専門分野 脊椎
脊椎疾患

いちむら りゅうじ
市村 竜治 医師
専門分野 膝関節外科
人工関節・外傷

しまだ てつろう
島田 哲郎 医師
専門分野 整形一般

変形性膝関節症の手術について

変形性膝関節症とは？

膝関節の軟骨が加齢や過度の負荷などによってすり減り、痛みや変形を引き起こす疾患です。症状の進行具合により保存治療もしくは手術を行い治療を行います。

手術の場合は「人工膝関節置換術」が多くの場合、選択されます。（※個人の症状により、違う術式が選択される場合があります）

健康な人の膝関節



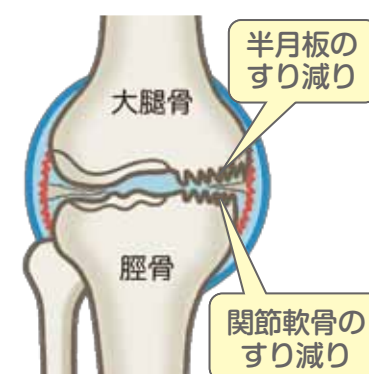
人工膝関節置換術とは？

変形性膝関節症や関節リウマチなどによって傷んだ膝関節の表面を人工関節に置き換える手術です。これにより、痛みの軽減と膝関節の機能改善を目指します。

傷んだ膝関節の表面を削り、金属やセラミック、ポリエチレンなどでできた人工関節を設置します。膝関節全体を置き換える「全置換術」と、一部のみを置き換える「部分置換術」があります。

この手術により、痛みの軽減、膝関節の機能改善などが見込めます。

変形性膝関節症の人の膝関節



整形外科医 外来診察日

	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
午 前	野村 智洋 福岡大学整形医	植田 博也 坂井崇一郎	野村 智洋 島田 哲郎	植田 博也 市村 竜治	春島 慎之介	幸 博和
午 後	福岡大学整形医	坂井崇一郎	島田 哲郎	市村 竜治		幸 博和

令和七年度 入 職 式

今年も新たに計29名が
当法人に加わりました。
フレッシュな力で地域医療に貢献します。



辞令交付



新入職員あいさつ（松永龍佳）



4月15日
OPEN!

重度要介護者
医療ケア対応

住宅型有料老人ホーム

シマダナーシングホーム おごおり



24時間365日看護対応サービス

地域で唯一の救急病院が運営する

小郡市で初めてのナーシングホームです。

住み慣れた“おごおり”で安心して

最期まで過ごしていただける施設を目指しています。

入居対象者

- ◆介護保険の重度要介護（要介護4、要介護5）の方
- ◆医療的な処置が必要な方
- ◆医療機関を退院後の在宅療養医療に不安がある方
- ◆最期の時間を住み慣れた場所で過ごしたい方
- ◆神経性疾患や後遺症などで重度の障害のある方
- ※上記以外の方でも対象となる場合がありますので、お気軽にご相談ください



ダイ・ルーム

料金

- ◆家賃：35,000円
- ◆管理費：33,350円
- ◆食費：36,204円（通常食の場合）

※上記の他に、実費や介護保険料として別途費用が発生します

全居室（38室）に見守りセンサーAiSleepを設置！

見守りセンサーAiSleepとは

- ◆リアルタイムで入居者の状態（離床・起き上がり・覚醒・睡眠）を把握することができる
- ◆ベストな訪室のタイミングで効率的な巡回対応が行える



お問い合わせ先 0942-48-2248

Email: nursinghome@shimadahp.jp

所在地: 小郡市小坂井494-1

『ご挨拶』



住宅型有料老人ホーム
シマダナーシングホームおごおり

管理者 / 田中 芳征
(たなか よしゆき)

当施設では、24時間、365日看護師が常駐し、医療依存度の高い方や重度要介護の方、神経性疾患や後遺症などで重度の障害のある方への医療・介護・生活支援を行って参ります。

ナーシングホームでは医療的ケアが充実して行える体制のため、身体状態が悪化した場合でも住み替えることなく、最期まで過ごせることが可能な施設となっています。

療養環境は全室個室となっており、プライベート空間を確保された上で、心身ともに安心して穏やかな生活を過ごしていただけます。

また、ご家族等の面会や外出、外泊など、社会との関わりも継続して持つことができます。

「入居者みなさまが自分らしく過ごせる場所を提供し暮らしを支える」ことをモットーに、一人ひとりのニーズに合わせたケアを提供出来るような施設を目指して参ります。



今回のテーマ

「在宅緩和ケアについて」

吉永 敬士 (よしなが けいじ) 医師 | 担当科 緩和ケア / 外科



がんになっても「できる限り家で過ごしたい。」多くの方がそのようにお考えです。例え症状が出てきても家で過ごす時間が取れることは貴重なことですが、「痛みが出てきたらどうしよう」「急に悪くなったらどうしよう」と不安も強くなります。ご自身で通院できるうちは外来治療が可能であり、あまりご心配はないかもしれませんが、通院するのがご家族などのお手伝いがないと厳しくなってきたとき、どうするのが問題となってきます。特に当院から遠いところにお住まいであれば尚更で、ご家族への通院のためのご負担が増えてしまいます。「悪くなったら救急車で病院にいけばいい」とお考えの方もおられますが、通院し、診察することで体の状態に応じた治療を継続していかないと体調維持ができず、家で過ごすのが困難となってしまい、その結果「できる限り家で過ごしたい。」という望みが難しくなってしまいます。

そんな時、**できるだけご自宅で過ごせる時間が取れるようにするために訪問介護、訪問看護、訪問診療という選択肢があります。**在宅で家事が難しくなってきた際にヘルパーをお願いしたりすることができたり、体調が悪くなっても訪問看護では24時間対応が可能な訪問看護ステーションがあり、夜間でも相談にのってもらえたりします。必要時には医師と連絡を取ってもらうことで、医師の指示により点滴や内服などの治療を受けることができます。通院に比較しますとできる検査には限りがあり、診察料もかかりますが、安心できる場所で、**大切なご家族と過ごしながらか療養できる**ことは、何よりも大切なことではないでしょうか？また、通院にタクシー代を払ったり、ご家族がお仕事を休むことを考えると、決して高い治療ではないと思います。

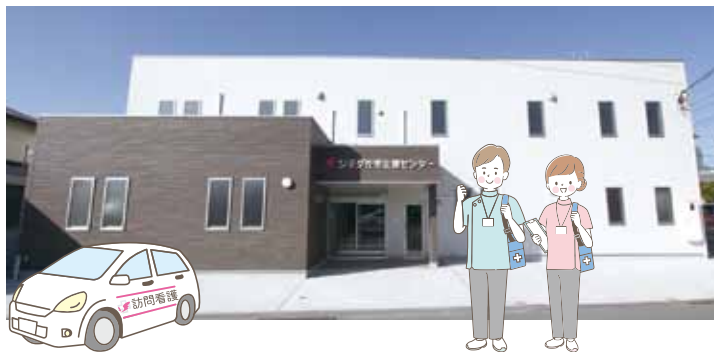
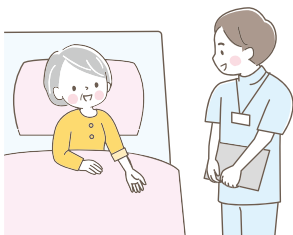
関連動画はこちらです



日本緩和医療学会
公式YouTube
チャンネルより

ハートフルシマダ訪問看護ステーションのご案内

- 療養上のお世話
- 症状の観察
- ターミナルケア
- 認知症ケア
- 床ずれ予防・処置
- 医師の指示による医療処置
- 医療機器の管理
- ご家族等への介護支援・相談
- 在宅でのリハビリテーション



診療看護師 (NP) に 江頭 景子 看護師が合格しました。



診療看護師 (NP) とは、特定の医療行為を医師の包括的指示のもとで行う看護師です。医師不足の解消や医療の質の向上に貢献しており、問診、検査、処方、治療計画の立案など、幅広い業務を担当します。患者さんの状態を総合的に評価し、医師と連携しながら、より質の高い医療を提供していきます。

母の日や誕生日プレゼントに

レディースキャンペーン

検査は全て **女性技師**

で行います!!



申込期限

2025年5月24日(土)まで

♥マンモグラフィ乳腺超音波検査

通常価格
7,700円(税込)

▶ **6,600円** (税込)

♥マンモグラフィ単独検査

通常価格
4,400円(税込)

▶ **3,850円** (税込)

ご予約方法

健診センター「アクア」

※AQUA

1. ネット予約 (24時間受付可)

嶋田病院 人間ドック

Q 検索



2. 電話予約 (日・祝除く 9～17時の間)

☎ 0942-72-2375

♥ 他コースと組み合わせて受診をして頂くことも可能です。

♥ 当日に空きがある場合は当日検査が可能です。

♥ 院内へ入られる際はマスクの着用をお願いします。

1 女性のがんで**1番**
多いのが乳がんです
年間約9万人(2018年度)の
女性が発症しています

2 乳がんは2つの発症
ピーク時があります
40～49歳、60～65歳までの
女性の方が多く発症します

9 人に**1人**が乳がんを
発症します



90%以上の方が
治るがんです
早期(ステージI)の場合の、
5年生存率は90%以上です

※がん情報サービス(<https://ganjoho.jp/public/index.html>)からの抜粋データに基づく

学術活動[学会発表]令和6年12月～令和7年2月

日 付	2024年12月9日～12月10日
所 属	リハビリテーション部
発表者	萬代 陽介
演題名	第13回日本理学療法教育学会 学術大会

日 付	2025年1月18日
所 属	看護部
発表者	梅木 倫子
演題名	第81回栄光ホスピスセミナー

日 付	2025年2月15日
所 属	診療心理士
発表者	北川 仁視
演題名	日本サイコオンコロジー学会

診 療 実 績	2024年12月	2025年1月	2025年2月
新入院患者数	289人	236人	212人
救急車搬入数	223人	214人	202人
初診紹介数	435人	392人	377人
紹 介 率	56.0%	57.4%	66.6%
平均在院日数	9.7日	12.2日	12.1日

法人理念

医療、介護、全人的ケアを通じて地域とつながり、私たちがかわるすべての人たちが安心と満足と幸せを感じる組織であり続けます。



ビジョン

1. 私たちは、救急・急性期医療と専門医療、予防医学、介護とケア、地域との連携により、良質なサービスを切れ目なく提供します。
2. 私たちは、地域の方々が安心して自分らしく暮らしていけるよう、治し癒し支える社会を創ります。
3. 私たちは、かわかる人たちがすべてが満足と幸せを感じ、私たち自身も夢を持ち輝ける組織になります。

[編集後記]

みなさま。広報誌「躍進」をご覧頂きましてありがとうございます。
ございます。

令和7年4月より島田幸典院長が就任し心機一転、新体制で地域医療の発展に努めてまいります。

今年は新しい常勤医師が2名加わり、多くの新入職員も例年同様入職しました。体制としては整形外科センターを発足し、ナーシングホームも開設しました。4月から変わる事は多いですが、変わらない事は地域の皆様が安心して暮らしていけるように私たちが支えることです。ぜひ新しい体制の中で躍進する嶋田病院を今後もよりしくお願いいたします。

[編集/広報委員 本間 翼]